



厚生労働省

沖縄労働局
Okinawa Labour Bureau

Press Release

沖縄労働局発表

平成26年2月28日

【照会先】

労働基準部健康安全課

課長 夏井 智毅

労働衛生専門官 嘉数 剛

電話：098(868)4402

産・労・医・学（沖縄県産業保健推進協議会）が

「働き盛りの健康改善策」を提言

平成24年(直近データ)の職場の定期健康診断で異常のあった方の割合は、沖縄県は63.9%で、2年連続で全国ワースト1です。また、平均寿命が男性は30位、女性は3位とかつての長寿県から後退した我が沖縄県の課題として、働き盛りの方の生活習慣病による死亡率が高いことが指摘されています。

そこで、沖縄労働局(局長 谷直樹)では、産・労・医・学の関係者からなる沖縄県産業保健推進協議会を開催し、協議会において、働き盛りの健康改善について提言をまとめました。提言では、社員の健康が企業の活力・成長にとってもプラスになるという「健康経営」の概念を基本的な考え方に据え、経営者が健康経営に取り組むことを宣言する「健康経営宣言(仮称)」や肥満・生活習慣病予防の第一歩として職場ぐるみでのウォーキングなどが提唱されています。

沖縄労働局は、今回の提言を具体化し、働き盛りの健康改善に取り組んでまいります。

1 提言の骨子

1 働き盛りの健康状況

- (1) 平均寿命330ショック
- (2) 有所見率が全国ワースト1
- (3) 高い肥満者の割合

2 職域の現状と課題

- (1) 職場での健康保持の計画的な取組や労働者に対する意識付けは未だ途上
- (2) 事業場規模で取組にも差

3 働き盛りの健康改善策の基本的な考え方

- (1) コストから投資への転換 ~健康経営~
- (2) 中小企業こそ「健康経営」
- (3) 若い世代も含めたアプローチも必要

4 具体的な方策

- (1) 健康経営宣言(仮称)~経営トップのコミットメントと企業ブランドの向上~
- (2) 肥満・生活習慣病の予防・解消対策~ウォーキングを入り口にして~
- (3) 若い社員も巻き込んだ取組
- (4) 中小企業への支援

2 検討経緯

第1回 平成25年10月23日、第2回 平成26年2月3日

〔添付資料〕

- ① [【概要版】「働き盛りの健康改善のための提言～社員の健康が沖縄企業の明日の成長につながる～」](#)
- ② [【本文】「働き盛りの健康改善のための提言～社員の健康が沖縄企業の明日の成長につながる～」](#)
- ③ [沖縄県産業保健推進協議会委員名簿](#)